じょう　がく　つう　しん
城岳通信

第19号
令和元年９月13日（金）
発行者：校長　宮里 寿子

成長を感じた、６学年・修学旅行！

６年生が待ちに待っていた修学旅行が９月 11 日（水）～12 日（木）の１泊２日の日程で、伊江島観光、マリン体験を中心に行われました。昨年の離島体験事業では宮古島へ出かけたものの 50 年ぶりの大雨に見舞われ、交流会等が中止になってしまった６年生でしたが、今年は天気に大変恵まれ、全ての活動を予定通り行うことができました。

１日目は伊江島観光が主で、戦争中は防空壕として利用されていた「ニャティア洞」や景勝地の「湧出展望台」を見た後は、いよいよ伊江島タッチュー（城山）登り。元気いっぱいの６年生は、291 段もある急な階段を難なく登り、360° のパノラマの景色を楽しんでいました。そして、夜の部は各クラスの「出し物大会」で、全クラスが「創作劇」に挑戦！戦隊もの、昔話をアレンジしたものなど、自分たちで脚本、演出を考え、各クラスとも約 30 分に及ぶ大作でした。最後は、モンゴル 800 の「小さな恋のうた」を大合唱して大いに盛り上がりました。

２日目は、バナナボートとヨットのマリン体験と、自分でデザインを考えた「湯飲み」の絵入れ体験がありました。特に、ヨット体験は天候の関係上、なかなか体験できないそうですが、風はあるものの波が凪ぎ。スタッフの方も「最高のヨット日和！」とおっしゃっていました。子ども達は、「日頃の行いが良いからね～！」と、とても嬉しそう。自分たちで操縦して沖まで行くヨット体験は、海風を受けて気持ちも良く、大変貴重な体験となりました。

そして、団長として嬉しかったことが、「6 年生の成長」です。学年当初に比べ、話の聞き方、集合の仕方が非常に良く、また、敬語を使って話をするなど、最上級生としての自覚が感じられました。伊江島行きのフェリー乗船では、「どうぞ。お先に」とおばあちゃん達を先に行かせたり、ペットボトルのゴミをを率先して集めたりする姿がありました。この修学旅行をより良いものにしようと各々が考えていました。ホテル館内のマナーも素晴らしかったです。

これからの学校生活での活躍がとても楽しみです。保護者の皆様には、朝早くからのお弁当作り等、お世話になりました。ありがとうございました。